

科目名：成人看護学実習Ⅲ (Adult Nursing Practice Ⅲ) 履修年次/時期：3年次 通年 授業形態：実習 担当教員：吉越洋枝（実務経験あり） 森脇佳子（実務経験あり）		必 2単位
学修目的	成人期で慢性疾患をもつ対象を受け持ち、発達段階の特徴や病みの軌跡の局面と仕事を踏まえ、対象の意思と生活を尊重したセルフケア支援を学ぶ。 DP3 および CP6 に関連する。科目No.KNp-302	
到達目標	1. 慢性疾患を持つ対象の発達課題の特徴を踏まえ総合的に理解し、看護上の問題を明らかにすることができる。 2. セルフケア獲得に向けた看護計画を立案し、実施・評価できる。 3. 慢性期看護の学び及び看護の役割を理解できる。 4. 自己の成長を促すための姿勢や態度を身につけることができる。	
授業概要	成人期で慢性疾患をもつ対象の発達段階、健康障害、診断治療に応じた看護過程を展開し、適切な援助を学ぶ。また、慢性疾患をもつ対象の生活を尊重したセルフケアや生活の支援をする看護を理解する。	
授業計画	(実習場所) 横須賀共済病院、横浜市民病院 (実習方法) 成人期の慢性疾患をもつ患者を一人受け持ち、個別的な健康課題に着目した看護過程を展開する。慢性疾患を持つ対象の看護を実践した学びをコンセプトマップにまとめる。グループ構成などの詳細は、実習要項によってオリエンテーションをする。 (実習期間) 2023年5月8日～2023年10月6日までのいずれかの10日間で実施する。 (詳細は実習要項によってオリエンテーションをする。)	
評価方法	1. 評価は原則担当教員が行う。その際、臨地実習指導者の意見も参考にする。 2. 評価は実習目標の到達度を評価表に沿って点数化する。 (詳細は成人看護学実習Ⅲ実習要項：実習評価表参照) フィードバックは実習毎に提示する。	
教科書	成人看護学概論、成人臨床看護Ⅱ、成人看護学演習で使用した教科書および病態と治療論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳで使用した教科書	
参考書	当該実習施設に関連のある疾患の病態、治療、看護に関する参考書を各自準備しておく。	
オフイスアワー	特定の日時を設定したオフィスアワーは設けません。実習で不在のことも多いので、必ずアポイントメントをとってください。直接研究室に来訪するかメールで連絡をお願いします。	
連絡先	吉越洋枝（3号館3階研究室） yoshikoshi@kdu.ac.jp 森脇佳子（3号館3階研究室） moriwaki@kdu.ac.jp	